



平成 21 年度「防災とボランティアのつどい」の開催について(第2報) (全体会のパネリスト、分科会の話題提供者等のお知らせ)

来る1月24日(日)に開催予定の平成21年度「防災とボランティアのつどい」につきまして、全体会午前の部のパネリスト、分科会のコメンテーター、話題提供者の詳細が決まりましたので、下記のとおりお知らせいたします(詳細については、別添のプログラムを参照)。

また、一般参加等のご登録は随時受け付けておりますので、奮ってご参加のほどお願いいたします。

記

1. 日時：平成22年1月24日(日) 10:00~16:45

2. 場所：日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

3. 全体会のパネリスト、分科会の話題提供者等

(1) 全体会午前の部：パネルディスカッション(10:15~12:00)

防災ボランティア活動の意義を考える

「～阪神・淡路大震災から15年、新潟県中越地震から5年を振り返る～」

【コーディネーター】 渥美 公秀氏(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)

【コメンテーター】 菅 磨志保氏(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)

【パネリスト】 藤室 玲治氏(神戸大学都市安全研究センター学術研究員)

長谷部 治氏(神戸市長田区社会福祉協議会)

若林 和枝氏(NPO 法人おぢや元気プロジェクト代表)

本間 和也氏(長岡市社会福祉協議会福祉事業係主査)

(2) 分科会(13:00~15:00)：テーマごとの意見交換会

(テーマ1) 平時からのボランティア活動

自主防災組織との連携や災害要援護者支援の取組、災害ボランティア研修などを例に、平時の災害被害の軽減に向けた多様な活動の内容とその意義について話し合う。

【ファシリテーター】 高橋 洋氏(nerimasaigai.net/練馬区職員)

【コメンテーター】 弘中 秀治氏(NPO 法人防災ネットワークうべ)

【話題提供者】 千葉 ひろみ氏(横浜・栄災害ボランティアネットワーク)

佐和 佳枝氏(美馬市社会福祉協議会事務局長)

(テーマ2) 地域の「受援力」とネットワークづくり

災害時のボランティア活動を円滑に受入れるための「受援力(支援を受ける力)」を高める方策や地域内、地域間のネットワークづくりの必要性とその意義について話し合う。

【ファシリテーター】 村野 淳子氏 (大分県社会福祉協議会大分県ボランティア・市民活動センター専門員)

【コメンテーター】 山崎 水紀夫氏 (NPO 法人 NPO 高知市民会議理事)

【話題提供者】 鳥羽 茂氏 (NPO 法人静岡県ボランティア協会事務局長)

高出 一明氏 (輪島市門前地区民生児童委員連絡会副会長)

山本 千恵子氏 (佐賀県難病支援ネットワーク)

(テーマ3) 復興に向けた被災地での取組

復興期に明らかになった課題や今後の対応が求められる課題に取り組んでいる事例から、復興期の住民自らの取組、被災地外からの支援など、長期的な視野を持った防災ボランティア活動の意義について話し合う。

【ファシリテーター】 栗田 暢之氏 (NPO 法人レスキューストックヤード代表)

【話題提供者】 柴田 貴史氏 (とちぎボランティアネットワーク理事/災害ボランティアオールとちぎ隊長)

三谷 みはる氏 (輪島市災害ボランティアの会代表)

江見 義弘氏 (佐用町社会福祉協議会)

(3) 全体会午後の部 (15:15~16:30)

各分科会からの報告、意見交換 など

【コーディネーター】 渥美 公秀氏 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授)

【コメンテーター】 菅 磨志保氏 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)

4. 取材：取材は随時可。なお、TVカメラの撮影位置などは内閣府担当者の指示に従ってください。(取材申込みは不要です)

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(災害予防担当) 付
参事官補佐 宮川 誠
主 査 河元 隆利

TEL:03-3501-6996 (直通) FAX.03-3581-8933

プログラム

阪神・淡路大震災から15年
新潟県中越地震から5年
防災ボランティア活動の意義を
みんなで考える



毎年1月17日は「防災とボランティアの日」
1月15日～21日は「防災とボランティア週間」です。

平成21年度

防災とボランティアのつどい



日時：平成22年1月24日（日）10:00～16:45

会場：日本教育会館（東京都千代田区）



主催 内閣府（防災担当）

開催趣旨

阪神・淡路大震災から15年、新潟県中越地震から5年の節目を迎え、防災ボランティア活動はますます大きな役割を果たしてきています。

そこで、防災の様々な局面（避難、復旧・復興、災害予防など）における活動について意見交換を行い、交流を深めるために「防災とボランティアのつどい」を開催します。

本年度は、これまで行われた防災ボランティア活動を総括し、様々な教訓の継承、活動の意義等の共有を行い、さらなる活動の発展・充実につながる機会とします。また、地域内にネットワークを有する組織の方々の参加を積極的に呼びかけ、防災ボランティア活動を多くの方々に、広く知っていただく機会とします。

プログラム

以下敬称略

10:00~10:15	開会 1) 主催者あいさつ (内閣府) 2) オリエンテーション (事務局)
10:15~12:00	全体会 (午前の部) 「防災ボランティア活動の意義を考える」 【コーディネーター】 渥美 公秀 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授) 【コメンテーター】 菅 磨志保 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師) 【パネリスト】 藤室 玲治 (神戸大学都市安全研究センター 学術研究員) 長谷部 治 (神戸市長田区社会福祉協議会) 若林 和江 (NPO法人おぢや元気プロジェクト 代表) 本間 和也 (長岡市社会福祉協議会 福祉事業係主査)
12:00~13:00	昼食・展示コーナー
13:00~15:00	分科会 (全3分科会) 分科会1 平時からのボランティア活動 【ファシリテーター】 高橋 洋 (nerimasaigai.net/練馬区職員) 分科会2 地域の「受援力」とネットワークづくり 【ファシリテーター】 村野 淳子 (大分県社協大分県ボランティア・市民活動センター 専門員) 分科会3 復興に向けた被災地での取組 【ファシリテーター】 栗田 暢之 (NPO法人レスキューストックヤード代表)
15:15~16:30	全体会 (午後の部) 【コーディネーター】 渥美 公秀 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授) 【コメンテーター】 菅 磨志保 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師) 1) 各分科会からの報告 2) 全体での意見交換 3) コーディネーター、コメンテーター等から総括コメント

1) 主催者あいさつ

内閣府

2) オリエンテーション

事務局

全体会（午前の部）

10:15~12:00

パネルディスカッション「防災ボランティア活動の意義を考える」

【コーディネーター】

渥美 公秀（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

1993年ミシガン大学大学院Ph.D（心理学）取得修了。同年、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。神戸大学文学部助教授、大阪大学人間科学部ボランティア人間科学講座助教授などを経て、2000年から現職。

グループ・ダイナミックスの立場から、災害ボランティア活動について、理論的、実践的に研究している。主な研究は、「ボランティアを含んだ災害救援システムの研究」、「災害ボランティアの社会的基盤に関する国際比較研究」、「コミュニティとボランティアとの関係に関する現場研究」など。

国際ボランティア学会、自然災害学会、地域安全学会、日本NPO学会、日本グループダイナミックス学会、日本社会心理学会などに所属。

【コメンテーター】

菅 磨志保（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師）

1995年東京都立大学大学院修士課程在学中に発生した阪神・淡路大震災を契機に、早稲田大学文学部・災害社会研究グループに参画、災害や市民活動に関するフィールドワークに基づく研究を開始。大学院修了後は東京都社会福祉協議会、東京都生活協同組合連合会にて災害関係の委員会・調査研究事業の事務局を担当。

2002年より人と防災未来センターの専任研究員として防災研究・人材育成事業などに従事。2005年から現職。災害ボランティアや自主防災に関する政府主催の委員会、災害NPOの全国ネットワークに参画。

【パネリスト】

平成7年（1995年）阪神・淡路大震災関係

藤室 玲治（神戸大学都市安全研究センター 学術研究員）

長谷部 治（神戸市長田区社会福祉協議会）

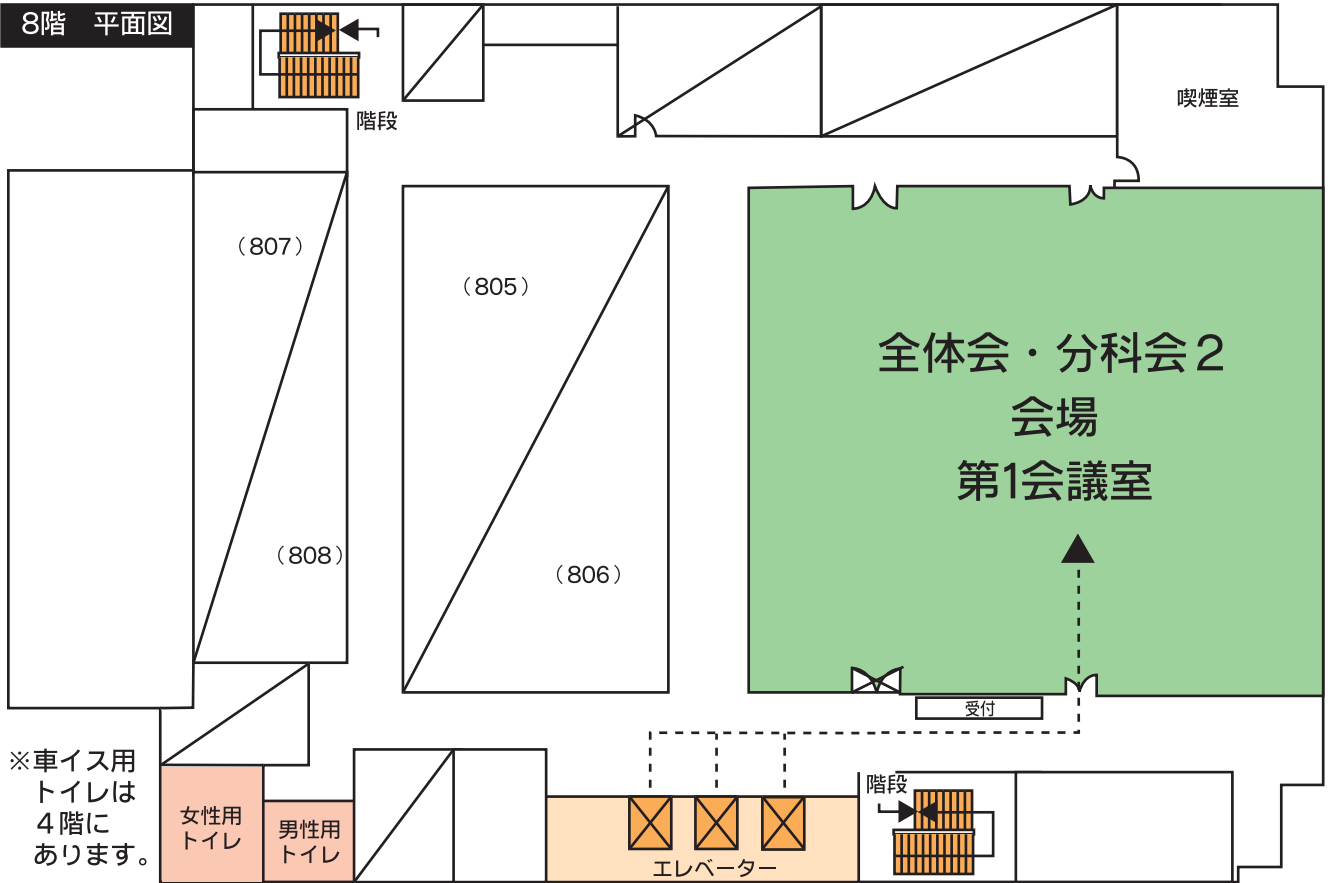
平成16年（2004年）新潟県中越地震関係

若林 和江（NPO法人おぢや元気プロジェクト 代表）

本間 和也（長岡市社会福祉協議会 福祉事業係主査）

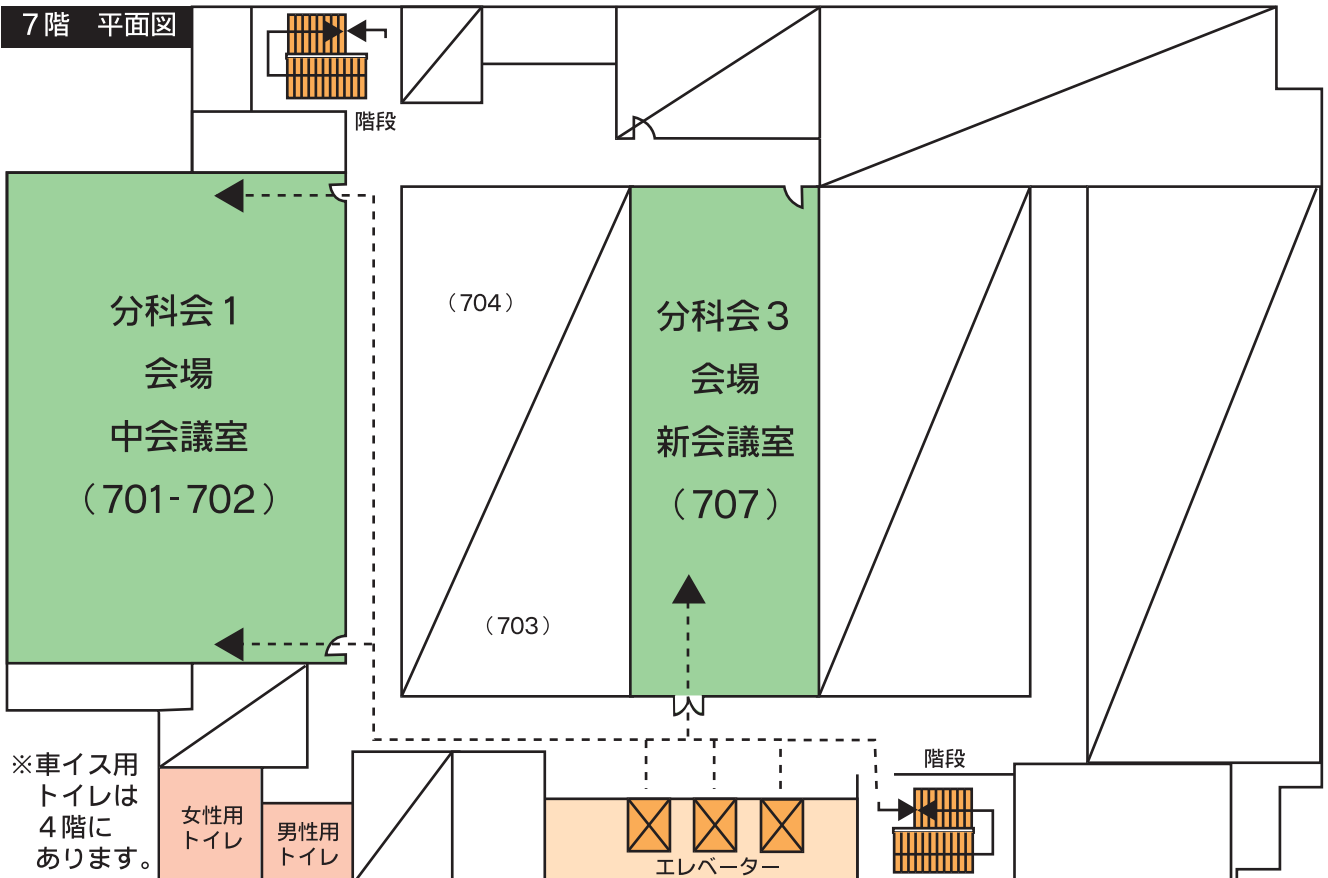
全体会・分科会2 会場図（8階）

8階 平面図



分科会1・分科会3 会場図（7階）

7階 平面図



分科会1 会場：7階 中会議室（701-702）

以下敬称略

平時からのボランティア活動

【概要】 自主防災組織との連携や災害要援護者支援の取組、災害ボランティア研修などを例に、平時の災害被害の軽減に向けた多様な活動の内容とその意義について話し合う。

【ファシリテーター】 高橋 洋（nerimasaigai.net／練馬区職員）

新潟県出身。1976年練馬区に就職。練馬区総務部（後に危機管理室）防災課、練馬区健康福祉事業本部介護保険課などを経て、2009年より高齢社会対策課。「災害時要援護者の避難支援における福祉と防災との連携に関する検討会」委員（内閣府）を務める。
著書に「防災－協働のガイド（共著）」（日本防災出版社）等。家具の転倒防止実演と割れたガラスの飛散防止フィルム貼りを支援する「建築防災くまさんの会」での活動も行っている。

【コメンテーター】 弘中 秀治（NPO法人防災ネットワークうべ）

【話題提供】 千葉 ひろみ（横浜・栄災害ボランティアネットワーク）
佐和 佳枝（美馬市社会福祉協議会 事務局長）

分科会2 会場：8階 第1会議室（全体会場）**地域の「受援力」とネットワークづくり**

【概要】 災害時のボランティア活動を円滑に受け入れるための「受援力（支援を受ける力）」を高める方策や地域内、地域間のネットワークづくりの必要性とその意義について話し合う。

【ファシリテーター】 村野 淳子（大分県社会福祉協議会大分県ボランティア・市民活動センター 専門員）

東京都出身。2000年より現職。県内の災害ボランティア登録者への研修会開催・広報紙発行、大分県災害ボランティアネットワーク事務局、災害ボランティアや地域活動に関する講演活動・啓発活動、冊子の作成・発行などに従事。
2003年宮城県北部連続地震以降、新潟県中越地震などの地震災害、新潟県・福井県・鹿児島県などの風水害の被災地において、現地調査、支援活動に関わる。震災がつなぐ全国ネットワーク事務局次長。

【コメンテーター】 山崎 水紀夫（NPO法人NPO高知市民会議 理事）

【話題提供】 鳥羽 茂（NPO法人静岡県ボランティア協会 事務局長）
高出 一明（輪島市門前地区民生児童委員連絡会 副会長）
山本 千恵子（佐賀県難病支援ネットワーク）

分科会3 会場：7階 新会議室（707）**復興に向けた被災地での取組**

【概要】 復興期に明らかになった課題や今後対応が求められる課題に取り組んでいる事例から、復興期の住民自らの取組、被災地外からの支援など、長期的な視野を持った防災ボランティア活動の意義について話し合う。

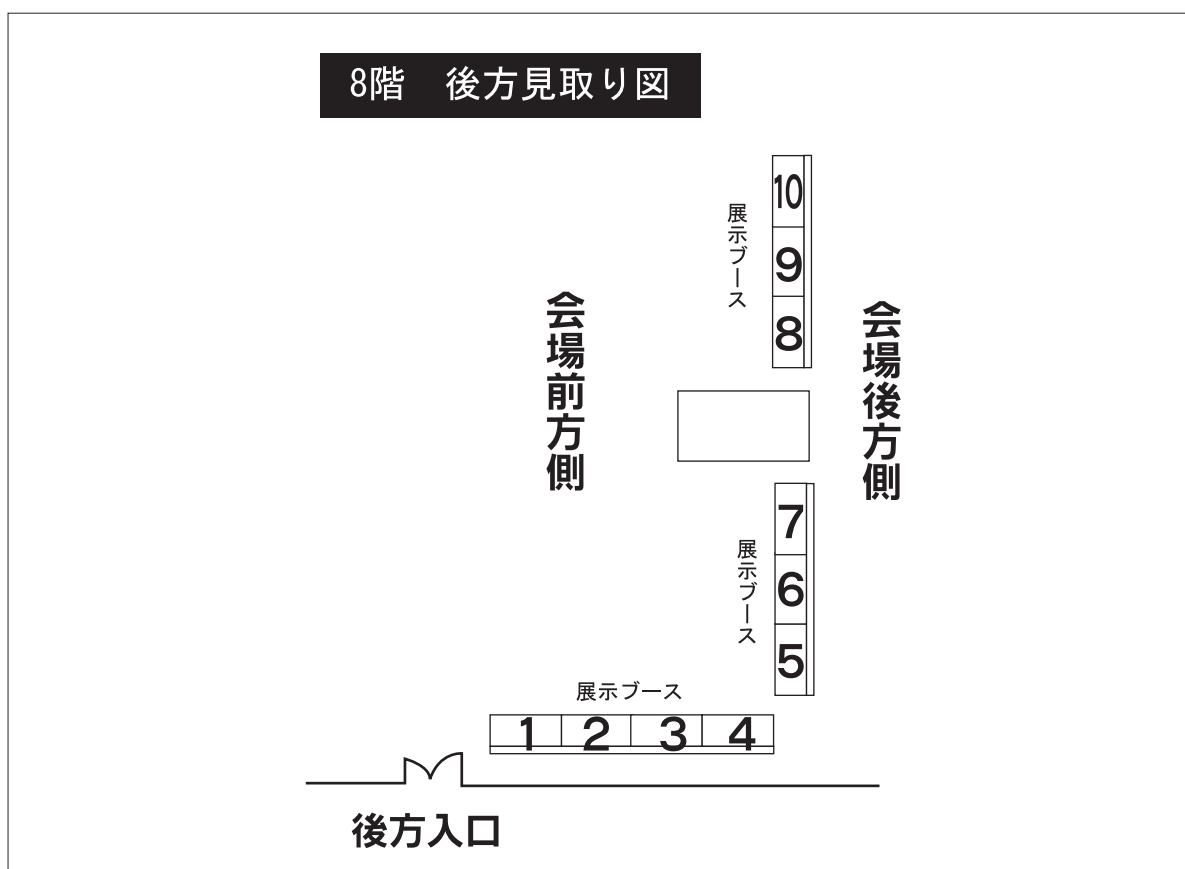
【ファシリテーター】 栗田 暢之（NPO法人レスキューストックヤード 代表）

岐阜県出身。名古屋大学大学院修了（環境学）。阪神・淡路大震災時に当時勤務していた大学の学生ら延べ1,500名とともに現地入り。以降、国内の約30箇所の災害現場で支援活動を展開。2000年東海豪雨水害では「あいち・なごや水害ボランティア本部」の本部長を務めた。
中央省庁、愛知県などの各種検討会委員を歴任。2003年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。震災がつなぐ全国ネットワーク代表、日本災害復興学会復興支援委員会副委員長などを兼務。

【話題提供】 柴田 貴史（とちぎボランティアネットワーク理事／災害ボランティア オールとちぎ隊長）
三谷 みはる（輪島市災害ボランティアの会 代表）
江見 義弘（佐用町社会福祉協議会）

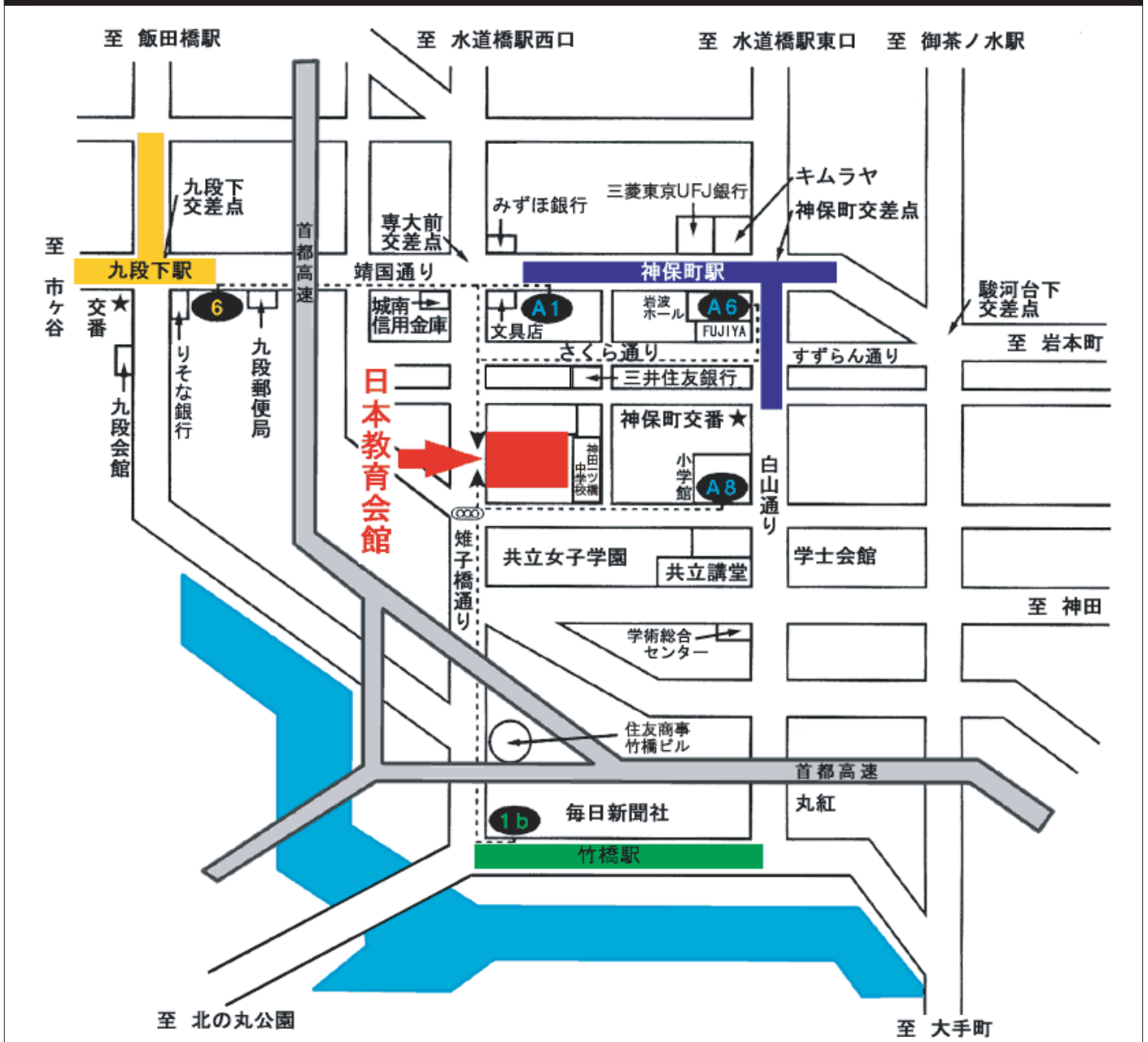
出展団体一覧

- 1：災害救援ボランティア推進委員会
- 2：ユニバーサルデザイン・ステップ
- 3：日本聴覚障害者建築協会（AAJD）
- 4：手話サークル「すみだ」
- 5：NPO法人 ADRA Japan
- 6：墨田区耐震補強推進協議会
- 7：同上
- 8：あかつきボランティアネットワーク
- 9：同上
- 10：NPO法人 千葉レスキューサポートバイク



- ※ 受付周辺には下記団体の展示をしております
- ・ひょうごボランティアプラザ
 - ・内閣府

会場周辺図



平成21年度 防災とボランティアのつどい 事務局

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害予防担当）付 東・宮川・河元

（電話）03-3503-9394 （FAX）03-3581-8933

株式会社 ダイナックス都市環境研究所 担当：津賀・渡辺・橋本

（電話）03-3580-8221 （FAX）03-3580-8265 （メール）info@bousai-vol.jp